

1. 件名：「実用発電用原子炉の安全性向上評価の継続的な改善に係る会合の開催について」の面談

2. 日時：令和2年12月7日 13時00分～13時50分

3. 場所：原子力規制庁 9階C会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ実用炉審査部門

藤森安全管理調査官、塚部管理官補佐、御器谷管理官補佐、宮本安全審査
専門職

九州電力株式会社 原子力発電本部 安全・品質保証部長他 12名※

四国電力株式会社 原子力部 安全グループリーダー他 6名※

関西電力株式会社 原子力事業本部 安全技術グループチーフマネージャー他
11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※2音声認識ソフトにより自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

6. その他

提出資料：なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁のミキヤです。それではこれからベンダーのほう開始させていただきたいと思います。
0:00:10	今日は暑いし、今日基底面なさせていただきたい目的としては、今後安全性向上評価、FSARの会議も公開の会合を開催したいと思っています。
0:00:26	これまで仙台ですとか高浜の浜堤計 6 回の会合を行って参りましたが、縛らししばらく血糖届け出多々いただいておりましたが中断をしておりました。
0:00:42	趣旨としては第 7 回目の開催ということで、これまでFSARの届け出で、それまでに、その中でですね、もう 3 多いところでは 3 回ほどの届け出をいただいているかと思いますが、PRAですとか、ストレステストといったところの
0:01:00	実際に評価を行ってきたところの進展が見られるかと思いますが、そういったこれまでに具体的に進展があった点ですとか、それから今後の活用方針とか含めて、
0:01:16	独自に何かの話も含めて、第 7 回目で 1 回整理をしたいという趣旨のものでございます。
0:01:25	で、介護としては 12 月中に会合をしたいと考えております。
0:01:32	具体的な日にちは今のところ 20 日の午前中であれば、そういった会合設けることができるので、その 22 日のですね、10 時半から 12 日の間で会合ができないかということ
0:01:47	まずお伝えさせていただきたいと思います。
0:01:54	で、具体的にその会合の中で御説明いただきたい話ですけれども、こっから本来に入りますけれども、まず、全般的な
0:02:04	話としまして、FSARの中で評価いただいたPRA、それから被ばく評価。
0:02:12	それからストレステスト、こういったものに係る評価結果について、現状具体的な活用例というものをお示しさせていただきたいと思っています。
0:02:24	あわせて、今後具体的にそういった結果も踏まえてこういうことに活用していくという、そういったこちらのほうは活用方針についてご説明させていただきたいというのがまず全般的な事項です。
0:02:42	これ以降ちょっとくらい個別の項目ごとで申し上げますと、まずPRAについてです。
0:02:52	二つ目の全般についてPRAの二つ目ということで、とPRAの評価手法、
0:02:59	これをこれまで多いとこで 3 回という話ありましたけれども、これまでどういった改善状況がなされてきたか。
0:03:08	こういった詳細、緻密化といった改善が見られているかと思いますが、そういった改善状況続いて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:19	それから、今後もさらなる改善計画、
0:03:24	あとはその改善に向けた課題、
0:03:28	というものについてご説明いただきたいと思っております。
0:03:34	二つ目なんですけど、PRAの二つ目なんですけれども、地震とか津波とか火災、こういった外的事象のPRAの具体的にこれまで開発してきたその状況、今後の活用の見通し
0:03:50	地震なんかであれば、あと学会標準としてはできたもの、その高度化。
0:03:58	こういったものの状況についてご説明いただきたいと思います。
0:04:05	PRAの三つ目なんですけれども、これは特需とかHPCの時の
0:04:12	はい。
0:04:14	はい。
0:04:25	すいませんこちら九州電力ですが、音声が入切れているようなのですが、規制庁でちょっとお待ちください。
0:04:32	はい。
0:04:36	はい。
0:04:40	最終の
0:04:45	朝日新聞社の小会社。
0:04:50	今、倉崎です。
0:04:53	主に
0:04:55	はい。
0:04:57	あ、すみません、非常に規制庁です。すみません。今のビジネスずっと取り消します。
0:05:03	ですので、あとPRAとしての今三つ目なんですけれども、
0:05:07	人的過誤の扱いということで特重の設備なんかも入ってくるかと思えますけれども、そういった特重施設も踏まえて、人的過誤の取り扱いというのを
0:05:22	今後、これの社外の方もですね。
0:05:25	の
0:05:28	方針なり具体的な今後取り入れていく。
0:05:33	見込みなんかを御説明いただきたい。
0:05:39	一部さ四つめPRAの四つ目なんですけれども、特重施設の
0:05:47	そのPRAにおける反映スケジュール。
0:05:50	これちょっと以前の面談ですね、具体的にまず最初の
0:05:56	特重供用開始後の1回目としては、炉心損傷した後のフィルタベントをモデル化したような話を入れますという話をいただいておりましたけれども、改めて公開の会合において、初回の届け出は具体的にこういったところまで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:13	こういった制約があって、1回目はこういった話であって、第2回目以降については、
0:06:21	ここにやっていくと。
0:06:24	そういう特重施設の反映スケジュールというものを具体的にお示しいただきたいと思います。
0:06:33	とPRAとしては以上で、三つ目大きな項目で言うと三つ目なんですけど、ソースタームの話になります。
0:06:44	ソースタームの評価をしては、拡大を機能喪失頻度CFFにおける管理放出、
0:06:52	それから設計の時の放出カテゴリーの分類
0:06:57	それから発生頻度の評価の扱い。
0:07:02	こういったものも、
0:07:03	御説明いただきたいと思います。
0:07:09	ソースタームとしては以上で一つだけです。
0:07:13	続いて被ばく評価大きなもので四つめ被ばく評価。
0:07:18	これは核種ごとの被ばくっていうのは、今まで、
0:07:24	評価上出てきていないかと思いますが、こういった核種ごとの被ばくの費用について、
0:07:31	説明をいただきたいと思います。
0:07:37	それから最後ですけれどもストレステストの関係、大きなコンクリートいっす名
0:07:44	ストレステストの結果関係としましては、特重の市システムが今後、
0:07:50	組み込まれてきます。
0:07:51	フィルタベントの関係だとか、炉柱だったりとか、
0:07:56	こういった系統ごとにおけるそのストレステスト
0:08:01	特重については頑健につくられているということも踏まえてそのストレステストの結果というのをお示しいただきたいと思います。
0:08:14	次です。
0:08:16	それから二つ目なんですけれども、
0:08:20	これはこれまでの説明の中でも段階的に拡張していくとされていきました地震随伴の
0:08:27	溢水ですとか、地震随伴の火災、
0:08:31	それから津波随伴の火災、
0:08:35	その他高温と仮設積雪とか竜巻といったそういった間距離
0:08:41	によるものの検討状況についてご説明いただきたいと。
0:08:49	ストレステストの最後なんですけれども、最後ですけれども、津波のクリフエッジの炉心損傷との関係

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:57	それから水密化範囲の見直し、
0:09:03	具体的に津浪のクリフエッジというのはこれまでも評価していただいておりますけれども、もうこれ以上なっちゃうと炉心損傷になるよといったところの具体的な関係等まず水密化範囲っていうのは具体的にこう見直してきますよと。
0:09:18	いったところの御説明をいただければと思います。
0:09:24	以上細かい個別の話としては以上でこれらを踏まえましてですね、公開の会で今回今後行うと思っておりますので、
0:09:34	そういった中には公開できない情報なんかも出てくるかと思えます。
0:09:40	ですので、
0:09:43	以上の説明の中で国会の中で、
0:09:46	議論できないような話。
0:09:49	特に特重関係ですね。
0:09:51	それから国会の中の話だけではなくて、具体的にほぼ届け出に盛り込むときに、独自の情報をどうやって、
0:10:01	結果を
0:10:03	盛り込んでいくか。
0:10:05	もしくは公表の仕方。
0:10:07	そういった国会性についてもちょっとあわせてお伺いしたいと思います。
0:10:14	こちらから伝えたいっていうのは、以上です。なんか規制庁側から補足ありますか。
0:10:20	すみません、規制庁のツカベですが、最後の結果、
0:10:28	なんですか。
0:10:31	こう言ってました。
0:10:35	はい、ワイエイシー駐車場についております。結果については、／規則で定められている通りだとやっぱり掲載していただいたりとかPRカードにも書かれているのかもしれないんですが、実際どういう形で世の中に公表されているかというのをおあわせて、
0:10:55	御説明いただければと思います。
0:10:58	これまでの実績っていうんですね。
0:11:04	はい。私から以上です。
0:11:06	事業者からあります。
0:11:09	規制庁価格からのお伝えしたい事項は以上になります。何か御質問とかありますか。
0:11:43	すみません九州電力からですぐらいということをしします。基本的な
0:11:50	個性なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:52	それぞれの改善の状況取り組みの状況を
0:11:58	御説明するっていうのが基本的なところで、赤のその状況を振り返るとっていうふうなところではなくて今後どうするかっていうふうなところに観点を行った御説明ということでよろしいでしょうか。
0:12:24	です。
0:12:26	そう。
0:12:28	していく形だと思います。
0:12:33	規制庁のミキヤですけれども、ちょっと先ほど、
0:12:38	個別の中では具体的にこれまで全体のところで申し上げた話になってくるのかなと思うんですけども。
0:12:45	PRAですとか被曝評価とかストレステストそれぞれについて、現状、
0:12:51	これまで多いところでは3回ほどの届け出をいただいておりますので、そういったさの中でどこに変わってきたかというか、まず具体的にそういった平成も踏まえて、活用なんかも進んできており、おるかと思っておりますので、そういった活用結果もお示しいただきたいということで、
0:13:11	今後の活用方針というのももちろん申し上げてはおるんですけども、
0:13:16	現状、これまで、
0:13:20	進化してきた点とか、活用してきたというのもあわせて御説明いただきたいと思っております。
0:13:47	すいません九州電力です。今説明いただいた活用をすいません。グックつよりねえとこれはこういったPRAストレステストを行って具体的にどういった結果が得られて
0:14:06	活動期間ということでそれから改善がやっぱり今繋がったようなものがあれば、そういった具体的な例で届け出書の中に記載したものを例として、お示するというのでしょうか。
0:14:26	はい。
0:14:28	届け出書の中に占める規制庁のミキヤですけれども、もちろん示していただければそれを
0:14:33	ご紹介いただくことでいいと思っておりますし、もしくは届け出書の中に出てきてないような話もあれば、それも含めて御説明いただきたいという趣旨です。
0:14:46	はい。
0:14:50	はい。はい御趣旨は理解しました。
0:15:09	あ、すみません、四国電力に質問ですが、すべて確認していただきたいんですがよろしいでしょうか、どうぞ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:16	先ほどのストレステストのところでは何か特重施設を反映したその結果を示してくださいというふうにおっしゃられたかと思うんですけどこれはもうPRAと同じように反映スケジュールとかということではなくって、こういう見通しだという層なんかそんなことをお示しする。
0:15:35	あと想定されてるんでしょうか。それとも、PRAと同じようにこういった第何回でこういったことをやって、こういうなんかスケジュール的なものをお示しすればよろしいんでしょうか。
0:15:46	規制庁のミキヤですけれども、この
0:15:51	ストレステストのところについては、具体的に系統ごとの価値単位なのか、ちょっとそこは御相談かなと思っておりますけれども、一応工事計画等を踏まえるところの
0:16:05	評価ができ上がっているのかなあと思っています。
0:16:10	我々としては独自のシステムっていうのは基本的に例えば既設のところとの
0:16:17	接合部分はあるような背景等もありますけれども、がん研にそれなりに作られているので、そういった他の系統なんか比べても十分に
0:16:27	がん頑健にできているというのをちょっと確認したいと思っております。
0:16:32	それが今後のスケジュールとして何見通しを御説明いただくのか、ないしはもう数値がある程度出てんであれば、数値を出していただきたいということなんです
0:16:47	どちらかというところまでの工事計画を踏まえると、基本的に数値というのが出てきているのではないかなと思っております。12月の会合では、具体的に
0:16:57	全系統無理なのかもしれませんけれどもこういった結果例が示せるようというんであればそういった結果例を示していただきまして、ということを考えております。
0:17:11	はい、四国電力に質問ですと、四国の場合はちょっとまだ特重施設まだちょうど工事注のところございましてまだその具体的な評価というのはまだ着手を今後着手する予定ではあるんですけど、まだできてないのでちょっとまた結果というのは、現状はない。
0:17:29	ような状況ではあります。御説明できるとすればやれと同じように今後こういうスケジュールでストレステストに特重施設。
0:17:40	を反映していくというスケジュールであれば御説明できるのかなというふうには考えております。
0:17:46	規制庁のミキヤですから、そこでやっぱりあれですかね当然そのものができ上がってきちんと設計通りにでき上がったかっていうのが最終確認にはなると思

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ってるんですけども、今もできていないものの工事計画はもう共同計算なんかきちんと終わっております、そういった関係で設計通り。
0:18:06	作られればこの程度になるよっていうご説明の仕方もあるんじゃないかと思っただんですけども、そこはいかがでしょうか。
0:18:15	すいません九州電力の関連です。すいません、ちょっとここ、P長さ、九州電力の芦田と申しますちょっと報告ご意見お伺いしたいんですけども、今安全性向上強化の評価としては、総合負荷の地点、
0:18:31	を持って、その人口のヶ月以内に評価して届け出なさいっていう形になっていると理解しているんですけども、前回の会合に向けてはルールは適用されず、事前に検討した情報を前広に会合で、
0:18:49	意見を聴取する場にすっていうことを言われているんです。
0:18:53	その趣旨を確認させていただきたいと思います。
0:18:57	規制庁のミキヤです。それはおっしゃった通り、総合負荷実際の運転開始から半年というところのFSARというのはその通りです。そのままそこを解釈を変えてはおりません。
0:19:13	可能であればこういったところもできないかなというところではありますけれども、
0:19:20	今の話でいうと、ちょっと失礼施設というのは確かに細かいかもしれませんがね、具体的な評価結果を示すって話になってきますんで、そういう意味ではちょっと今言い過ぎた話なのかもしれません。
0:19:32	規制庁フジモリですけど、ただの具体的な評価経過を求めているわけではなくって、今後どういうその考え方っていうその特重やった場合評価していくかっていうところの考え方をですね、今後特徴やってきて、各プラント出てくるので。
0:19:50	事前に意見交換をしておきたいというのが趣旨なので、今後どういう形で評価していくっていう考え方さえ示してもらえれば全然問題ないんです。
0:20:15	九州電力の話でございます。規制庁さんの趣旨は御理解いたしました。そこを踏まえまして今後飲み会合を22日に復旧されるっていうことをなのでそこを踏まえてどういうところを、
0:20:32	担当課の中でご議論いただける情報を御提出できるかっていうところはちょっともう少し調整させていただきたいなと思います。以上です。
0:20:42	はい。規制庁フジモリですけど、20日は公募であってちょっとそちらの検討状況も踏まえて、再設定するかもしれないので、一応候補としては、
0:20:54	取れそうなのは20人というところが、現代であれば、そこぐらいしかないかなという今の状況なので、
0:21:01	完全に一緒に絶対あるということでは一応ないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:14	それで九州電力の後藤です。20日を一つの目標として3%の設定すると、事前にこういった方向性の内容というふうなことで、一通り事前の
0:21:31	ご相談なりをさせていただくということになるかと思うんですけれどもその辺のスケジュールはなんか
0:21:40	あらゆるものがございますか。
0:21:42	そう。
0:21:44	はい。
0:21:48	わかりました。
0:21:53	はい。
0:21:54	はい。
0:21:59	はい。
0:22:00	はい。
0:22:08	。
0:22:10	規制庁のミキヤですけれども、減つとんではちょっと通常のヒアリングは1週間前に事前提出をいただくという形で進めているかと思えますんでちょっと今回のについてもその例にならって、15日めで、
0:22:25	前提するみたいな形でいただければありがたいかなと思います。
0:22:41	すいません九州電力です。先ほど結構項目としては
0:22:49	提示いただいたのかなというふうに思いますけれども、一応時間的にやっぱり厳しいところあるかなというちょっと感覚を持っておりまして、
0:23:00	これ会合一応3社というふうなことにももちろんなると思われますので、資料の作り方であるとかっていうふうなところの調整であるとかいうふうなものもちょっとあるので、酸素濃度か時間的なものも含めて、確認さ。
0:23:18	結果をちょっとご相談できればなというふうに思いますがいかがでしょうか。
0:23:25	はい。規制庁のミキヤですけれどもそこはもう全く
0:23:29	相談ベースは可能であるだと思います。
0:23:35	ありがとうございます。そうしましたら今日のをご提示いただいて内容をちょっと各社さん等の確認を取って今後どういったスケジュールで対応が可能かっていうふうなところをちょっと整理させていただいて、一旦御回答させていただければというふうに思います。
0:23:53	はい。
0:23:54	よろしく申し上げます。
0:23:59	そのほか、
0:24:00	何かございますか。すみません九州電力後藤です。届け出書の公開の方法について、事業者の方の来整理の考え方をというふうなことで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:17	言われたんですけども、これは今までの取り情報取扱の
0:24:25	この単純に程度なんですとか特有の許認可関係の取り扱いの方針に沿ってするということからというふうに思っております。そうしますと今の届け出書って、公開範囲等を参考資料というふうな形で整理をさせていただいているんです。
0:24:43	もう基本的には、参考資料側に含めていくということになろうかと思えます。大きくはそういった
0:24:52	構成ですが、基本的に何かちょっと、さらにkA非公開の範囲をまた別扱いするとかってというふうな考えがございますか。
0:25:04	規制庁のミキヤですけども、これまで特重の許可なり工認で整理した非公開の範囲を変えるつもりは全くありません。ただ、許可を購入を公開できるところは記載するという形で申請書なり審査書なりのを扱ってきているかと思えますので、
0:25:23	FSRについては全部参考資料に戻される話ではないかなと思っております。そういう意味でできる話できない話というのをちょっと
0:25:34	念頭に御説明いただきたいという趣旨です。
0:25:39	いいですか。規制庁の基本とうるさいごめんなさい、ちょっと結成しますけど。
0:25:47	さっきツカベが言ったように、現状それをどういう形で外部に、この届け出書がさらされているのか。
0:25:56	外部からどういう意見を
0:26:00	それによって
0:26:03	もらう機会があるのかって言うか多分その外部専門家でしたっけなんかと有識者に何か。
0:26:10	Reviewとかして、
0:26:12	これはてると思うんですけど、
0:26:17	そして手法はちょっとその結果を公表してそれを外部にさらした上で何か
0:26:24	さらなる改善みたいなどどう図られてんのかなっちゅうところが根底にあつて、中で今の記載の
0:26:33	公表方法をやらしてもらえばよくてあまりその特重動向っていうところは、
0:26:40	結局その
0:26:42	考え方をきちんと出せる渡せないで非公表って同じなのでそこは別に含めなくてもよくてもちょっと日一般的な意味での結果の公表について現状等もし何か今後こういうのを考えてるとかあればあれなんですけど基本権上の
0:27:02	結果の公表方法について示してもらえればいいです。
0:27:11	はい。その趣旨をご理解いたしました。
0:27:20	規制庁フジモリですけどあとすいませんEPRIのところの、さっきの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:25	現状の評価手法の改善状況とか、今後のさらなる改善計画とか、それ今地震津波火災PRA部会長含まれるかもしれませんけども、特に我々としても今までどこまでやってくれて今後どうなるっていうところを議論したいので、
0:27:45	あそこの資料は少しちょっと、
0:27:49	て一厚めについていうか、議論したいと思っているので、適宜
0:27:54	まとめてもらいたいと思っていますので、お願いします。
0:28:12	研修会が下にございます。先代の第1回目の時に取りまとめていただいているような改善事項もありますので、点も踏まえて今後今できているものになると、重症の拡張の関与して球菌NRRCを通じて検討している課題とか、
0:28:32	ありますのを踏まえた形で案を御説明できんのお示しします。以上です。
0:28:54	そのほかいかがですか。
0:29:01	では九州電力の後藤です。すいません。一つお考えがもしあればということで、先ほどkAと公開の範囲をということで、一般的に外に向けてどういうふうに示していく方針かっていうふうなことでは説明があればいいよというふうなことだったと。
0:29:21	いたしましたけれども、11月の4日の
0:29:26	委員会の
0:29:29	これに委員長の方からのお話特重施設の評価に加えるべきかどうか検討しておく必要があるかっていうふうな御発言があったと思うんですけども、今回のこの会議の趣旨等院長の5月期
0:29:44	いうのは、
0:29:45	何か
0:29:48	背反するみたいなのが、
0:29:50	あるのかどうかってのは、単純にちょっと気になったんですけどいかがでしょうか。
0:29:59	規制庁の河合ですけど、議長がそのような発言されているのは見たことはあるんですが、あまりその発言と今回の開口は直接はリンクしてなくて、我々としては、特重施設については、当然、
0:30:14	安全性向上評価の中に含まれてくるものと思っているので、その前提でお話をさせていただこうと思っています。
0:30:27	了解しましたありがとうございます。
0:30:59	その他よろしいですか、すみません九州電力の菅です。ちょっとすみません事務的なところで申し訳ないんですけど会合の際にですね今3社からこの状況について御説明させていただいて、その議論という形になると思うんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:16	その場合の進め方として各社に10分ぐらい状況説明しましてその後議論というかそういうふうな時間のスケジュールイメージ等ありましたら教えていただければというふうに思います。
0:31:27	ただし、
0:31:35	30分1時間半でしたっけ、うちが
0:31:39	3社で60。
0:31:42	はい。
0:31:46	規制庁のミキヤですけど、イメージとしては説明を各社15分そうお願いできればなど。その後議論というそういうイメージを考えております。
0:31:57	はい、承知しました。ありがとうございます。
0:32:04	すいません関西電力丸山と申しますと、先ほど輸送プロセスとの説明事項の中で、津波の繰りフィリップスとかその水密化の範囲の見直してという話があったかなと思うんですけども、ちょっとここをもう一度御説明いただけないでしょうか。
0:32:24	規制庁フジモリですけど。
0:32:27	基本今のその津波クリフエッジって、
0:32:32	単にそのシールを超えたらもう全部だめになっちゃうっていう、
0:32:36	クリフエッジの設定だと思うんですけども。
0:32:39	そうじゃなくて何かもうちょっとその厳密に評価できないのかっていうところが、議論したい。
0:32:46	県たって見直していましたが、だから今の考え方しかないのかもしれないですねその我々としては、だからそこをちょっと
0:32:58	会合で議論したいなと思ってんですけど。
0:33:01	結局は津浪クリフエッジと炉心損傷の
0:33:06	津浪クリフエッジの結果なんですかねそこを示して幾らもらうぐらいしか
0:33:13	もちろん何か計画があればですけど。
0:33:16	今評価のやりかたっていうところしか説明。
0:33:21	できないかもしれないですね。
0:33:30	学位の丸山です。そしたら最終的には今のお話をお伺いする限りにおいては、今の津浪のクレジットの評価の仕方っていうところを例えばプラント個別で違うところがあるんであればこういったところは、このプラントでというような話がありますと、基本的な考え方はこうですっていうところの整理だけをさせていただいてよろしいですかね。
0:33:51	そうですね。それが
0:33:53	議論のために必要なと思いますのではい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:59	承知いたしました。ありがとうございます。
0:34:12	そのほかございますか。
0:34:17	九州電力二宮ですね、ちょっと被ばくのところで先ほど核種毎の寄与についてというお話があったと思うんですけど、こちらは第1回CV健全のほうを主体的に説明するようなイメージですか、それとも、今回の特重の部分まで含めてということですか。
0:34:37	評価結果がないってところもありまして、どのように、ちょっと説明いただけたらいいかということですか。
0:34:45	はい。
0:34:48	規制庁フジモリですけども、それも今の評価で問題ないんですけども。
0:34:53	あなたがこれも音波我々塗布してのちょっと
0:34:58	議論したい点でちょっと説明しちゃってますけど、基本だから今からどういう評価になっていったら何か1ヒアリングでも言ってるかもしれませんけども、基本やっぱりその被ばく
0:35:12	核種ごとの寄与が出てないと、その防護柵なりその安全性向上考える上でも、
0:35:18	やっぱりちょっと
0:35:20	足りないと思うんですけど、その辺、
0:35:23	どう考えてるのかっていうところは議論したい。
0:35:27	／日、
0:35:28	設計についての説明の必要性っていうよりはやっぱりこれも結局は現状の評価を
0:35:36	説明してもらえないかもしれないんですけど、同じような話になっちゃいますけど。
0:35:43	九州電力のビジネスがわかりました。ありがとうございます。
0:35:48	きっと。
0:35:49	すいません関西電力の永井と申しますけども、今の点ですね、高浜3号の初回の届け出の審査会とかで、コメントの御指摘もいただきまして、面談資料として後日
0:36:03	数が4枚ものぐらいですね、被ばく経路ごとにどの線量聞いてますと、その中でも、内部被ばくで様相こういった核種代表核種としてはこんなものの寄与割合が高いの例には内部被ばくしないようさんに対する防護措置が大事ですよっていうようなところのペーパーを出させていただいて、
0:36:22	そのSSを届け出書にも記載させていただいておりますけれども、その辺の御説明をすれば良いっていう感じでしょうか。
0:36:31	そうですね、はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:36	わかりました。ありがとうございます。
0:36:45	そのほかございますか。
0:37:09	結果、九州電力からです。救急車のほうからの確認事項等は影響以上になります。
0:37:19	はい。
0:37:22	関西電力さん何かほかにもございますか。
0:37:32	あと、すみません関西電力までやろうと申します。1月の末にですね説明させていただいた特重の反映のスケジュールの内容について、
0:37:40	もう踏まえながらですねこの内容を行ったらブラッシュアップしながら御説明させていただくという理解でよろしいですかね。今後の予定みたいなのところについては、
0:37:52	はい。特重は一つの項目でしか過ぎませんが、はい、その特重については、そこをブラッシュアップさせていただいて御説明いただくと、そういう認識です。
0:38:04	承知いたしました。ありがとうございます。
0:38:10	朝日インテックとしては質問以上でございます。はい。四国電力さんほかにも何かございますか。
0:38:20	四国電力に質問です。執行部としても特にございません。以上です。
0:38:26	いや、
0:38:27	それでは本日の面談これで終了したいと思います。
0:38:32	ありがとうございます。
0:38:35	ありがとうございますと沸騰し、
0:38:39	はい。
0:38:41	これも本文の規制

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。